

戸籍のまど

13月1日～31日

届出分（敬称略）

希望により掲載しない場合があります。また、表記は住民基本台帳を基にしています。「おくやみ」は、「遺族からの希望により、以前の「地区」「世帯主」を表記することがあります。

戸籍のまどでは、新生児と亡くなられた方の氏名・大字などを掲載していますが、不正使用や目的外使用防止の観点から、ホームページ上での掲載はいたしませんのでご了承ください。

有料広告欄



市のここが知りたい

第24回

「社会保険に加入したとき」

Q. 4月から他市町村へ転出し、職場の健康保険に加入しましたが…

A. 国保を抜ける届け出をしましょう

下表のような場合、市の国保年金課へ国保を抜ける届け出が必要です。届け出が遅れると保険証が手元にあるため、うつかりそれを使って医療を受けてしまうことも…。そんな場合は、国保（市）が負担した医療費をあとで返していただくことになります。

また、ほかの医療保険に入ったとき、国保をやる届け出をしないと、知らずに保険税を二重に支払ってしまうことにもなりますのでご注意ください。

国保年金課 ☎ 1141

こんなときは届け出を	届出に必要なもの
他市町村へ転出するとき	保険証、印鑑
職場の健康保険に加入したとき	国保と職場の健康保険の両方の保険証（後者が未交付の場合は、職場で加入したことを証明するもの）
職場の健康保険の被扶養者になったとき	死亡を証明するもの、保険証、印鑑
国保被保険者が死亡したとき	保護開始決定通知書、保険証、印鑑
生活保護を受け始めたとき	外国人登録証明書、保険証
外国籍の人がやめるときは…	

市長随想

24

六次産業

産業の起源については確かなことはわからないが、狩猟生活で食をつなぎ、やがて安定した糧を求めて種をまき、古代米にみられるように農耕する民族と家畜を放牧しながら育てる遊牧民族が生まれ、現在の農林水産などの業に発展してきたであろう。

農林水産業は全て自然の恵みに支えられており、太陽、大地と恵みの雨を利用し、人の技を加えて産品として生み出され、ゆえに第一次産業といわれるのであろう。やがて人々は食だけでなく生活の利便性を求めて、工業製品など文明の力（二次産業）を開発製造し、さらに、社会の広域化により販売、物流、情報などのサービス産業（三次産業）へと発展してきた。

私は、就農した頃、汗を流して栽培した農産物が原価に関係なく売られることにショックを受けていた。青果物は、無条件委託販売であっても、ある程度の価格は保持されると思っていた。生産者の立場で消費者まで届ける産直産業などに取り組むことは、分業を超えた新しい形態を生むビジネスチャンスではないだろうか。地域の特産品（一次）を加工（二次）し、販売（三次）する六次的産業への取り組みをはじめたのも30年前のことである。

かすみがうら市長 坪井 透

有料広告欄